

編集後記

（66巻第8号 2020年8月）

今年の梅雨は長く、雨の量が多い。7月末だというのに、京大病院構内のセミの鳴き声も小さい。これまでの数年は、いつ梅雨入りしたのか、いつ梅雨が終わったのかがはっきりしなかった。ニュースで「X月X日に梅雨が始まった（終わった）と思われます。」というフレーズを毎年聞いていたように思う。これまでのはっきりしない梅雨と、今年のはっきりし過ぎた梅雨のどちらが異常気象なのか、わからなくなってしまった。

Covid19も落ち着く気配はなく、どうも第2波が来ているようだ。異常気象、Covid19に加え、米国、中国、韓国、北朝鮮などを巻き込んだ海外事情もきな臭くなっている。残念ながら、今の私たちには祈る以外になすすべはない。

（小川修）